



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ユナイテッドアローズ

コード番号 7606 URL <http://www.united-arrows.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 竹田 光広

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部部长 (氏名) 中澤 健夫

TEL 03-5785-6325

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日

平成25年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	56,670	12.0	4,416	△9.7	4,445	△10.4	2,435	△10.9
25年3月期第2四半期	50,582	11.5	4,890	19.0	4,961	19.5	2,733	21.7

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 2,431百万円 (△8.5%) 25年3月期第2四半期 2,657百万円 (21.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	76.54	—
25年3月期第2四半期	86.33	85.77

(注)平成26年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	57,188	26,690	46.7	838.17
25年3月期	54,395	25,403	46.7	799.65

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 26,690百万円 25年3月期 25,403百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	15.00	—	38.00	53.00
26年3月期	—	20.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	41.00	61.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,545	9.1	13,462	7.2	13,484	7.2	7,754	6.0	243.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	37,800,000 株	25年3月期	37,800,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	5,956,014 株	25年3月期	6,031,580 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	31,823,986 株	25年3月期2Q	31,668,552 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 【第2四半期連結累計期間】	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
4. (参考) 四半期財務諸表(個別)	P. 12
(1) (参考) 四半期貸借対照表(個別)	P. 12
(2) (参考) 四半期損益計算書(個別) 【第2四半期連結累計期間】(参考)(個別)	P. 14
5. 補足情報(・平成26年3月期第2四半期の個別売上概況について)	P. 15
(1) 全社売上高の状況	P. 15
(2) 事業別の売上状況	P. 15
(3) 既存店の状況(小売)	P. 15
(4) 品目別の売上状況	P. 15
(5) チャネル別の売上状況	P. 15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から9月30日まで)におけるわが国経済は、政府の経済対策および金融政策によって円安が進行し、輸出関連企業の業績に回復傾向が見られました。また株価上昇に伴い景気回復への期待感が高まったものの、海外景気の下振れ懸念や円安による輸入資材の価格上昇などのリスクにより、先行きの不透明感は継続しております。

衣料品小売業界におきましては、景気回復への期待感から消費者マインドの持ち直しが見られ、百貨店の高額品を中心に好調な動きが継続したものの、4月から5月初旬にかけての低気温、7月から8月にかけての記録的猛暑や全国各地での局所的な豪雨など、不安定な天候要因による影響が続きました。

このような状況の下、株式会社ユナイテッドアローズにおきましては、平成26年3月期の単年度経営スローガンとして「『チャレンジ』、進化、成長し続ける既存事業の磐石な収益基盤のもと、新規事業開発を通じた新たな価値創造へのチャレンジ、増収増益・3期連続最高益更新へのチャレンジ」を掲げております。このスローガンの達成に向け、以下の4つの全社方針を着実に推進いたしました。

進化、成長し続ける既存事業への『チャレンジ』

既存事業につきまして、社会潮流の変化に対応してお客様のニーズを捉え、競争力の源泉である「ヒト・モノ・ウツワ」の進化を通じて新たな価値を提供し続けてまいりました。商品・販売・宣伝部門の連携を強化し、お客様の声を活かした商品を適時適量に投入することで、当第2四半期累計期間の小売+ネット通販既存店売上高前期比は102.4%と前年同期を上回って推移いたしました。

新規事業開発への『チャレンジ』

当社は、再成長に向けて新たな挑戦をするための体制が整ったと判断し、一時的に休止していた新規事業開発を平成25年3月期より再開いたしました。当第2四半期累計期間においては、ビューティ&ユース ユナイテッドアローズの事業内事業としてニューヨーク発のセレクトショップ「スティーブン アラン」の店舗を東京、大阪地区に計3店舗()オープンいたしました。海外展開につきましては、8月に海外子会社の「台湾聯合艾諾股份有限公司」を台湾に設立し、初の海外直営店となる「ユナイテッドアローズ 台北店」の平成25年10月の出店に向けた準備を進めました。また将来の主力事業を目指す新規事業「アストラット」の出店に向けた準備を開始いたしました。なお、「アストラット」は平成26年3月の出店を予定しております。

「スティーブン アラン」3店舗のうち2店舗は「ビューティ&ユース ユナイテッドアローズ」の別館であるため、店舗数カウントには含みません。

O2Oリーディングカンパニーへの『チャレンジ』

O2O()とは、実店舗(オフライン)とインターネット(オンライン)との購買活動を相互に連携・補完し合うことにより顧客満足度を高める施策を指します。スマートフォンなどの新しい通信機器の普及や、個々のお客様にあわせて商品を推薦する機能などの進化によってネット通販が浸透し、O2Oはファッション業界にとって欠かすことのできないキーワードの一つになりました。平成26年3月期はこれを戦略課題に位置づけ、当第2四半期累計期間においては実店舗とネット通販の連携強化に向けた新たな取り組みの準備を進めたほか、物流在庫情報を通販サイトと連携させ、販売機会損失を軽減させる取り組みを拡大いたしました。

O2O=オー・ツー・オー/Online to Offline

生産性向上による利益拡大への飽くなき『チャレンジ』

既存事業の強化や新規事業の開発を行う一方、管理面では、引き続きメリハリのあるコストコントロールと業務効率改善による生産性向上に向けた取組みを推進いたしました。当第2四半期累計期間においては、株式会社ユナイテッドアローズの売上高販管費率は、前年同期より0.4ポイント増、当初計画より1.2ポイント減の44.8%となりました。前年同期からの増加要因は大型販促の実施等に伴う宣伝販促費の増や新規出店増に伴う人件費の増等によるものであり、計画からの低減要因は営業設備投資に伴い発生する内装費・小額備品費等の減やコストコントロールによる固定費の低減等によるものであります。

出退店では、ユナイテッドアローズ事業：7店舗の出店、1店舗の退店、グリーンレーベル リラクシング事業：3店舗の出店、クロムハーツ事業：1店舗の出店、スモールビジネスユニット：7店舗の出店、1店舗の退店、アウトレット：1店舗の出店を実施し、当第2四半期末(平成25年9月末)の小売店舗数は206店舗、アウトレットを含む総店舗数は225店舗となりました。

連結子会社の株式会社フィーゴは、今後の売上拡大に向け、当第2四半期累計期間において、イタリアのファッションブランドであるアルベルト アスペジ社 (ALBERTO ASPESI & C. S.p.A.) および「アルエロ デザイン」のブランド名でアイウェアの製造・卸事業を展開するイタリアのコーンセプト社 (COONCEPT srl) とそれぞれ日本における独占輸入販売権を取得いたしました。業績につきましては、卸売、小売、ネット通販が好調に推移したことで増収となりましたが、円安の影響に伴う売上総利益率の減ならびに営業・管理体制の強化や新規ブランド獲得に向けた先行コストの発生等により減益となりました。出退店では1店舗の出店を実施し、当第2四半期末(平成25年9月末)の直営店舗数は13店舗となりました。

連結子会社の株式会社コーエン(決算月:1月)は、新規出店に伴う増収のほか、既存店やネット通販が堅調に推移し増収となりましたが、円安の影響や値引き販売の増等に伴う売上総利益率の減や、当第2四半期累計期間において10店舗の新規出店を実施したこと等による販管費の増に伴い減益となりました。出退店では前述の10店舗の出店のほか、2店舗の退店を実施し、当第2四半期末(平成25年7月末)の店舗数は59店舗となりました。

なお、グループ全体では当第2四半期連結累計期間に30店舗の出店、4店舗の退店を実施し、当第2四半期連結累計期間末の店舗数は297店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、新店出店に伴う増収、既存店およびネット通販の伸長により、前年同期比12.0%増の56,670百万円となりました。売上総利益率は円安の影響等に伴い、前年同期から1.3ポイント減の53.2%となりましたが、売上高の伸長に伴い売上総利益額につきましては前年同期比9.4%増の30,135百万円となりました。販売費及び一般管理費につきましては、新規出店の増等に伴い、前年同期比13.5%増の25,719百万円となり、販売費及び一般管理費率につきましては、前年同期から0.6ポイント増の45.4%となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の営業利益は4,416百万円(前年同期比9.7%減)、経常利益は4,445百万円(前年同期比10.4%減)、四半期純利益は2,435百万円(前年同期比10.9%減)と増収減益となりましたが、各利益につきましては、当初より減益で計画した値を上回って着地いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比較して1,613百万円(4.6%)増加の36,602百万円となりました。これは、商品が3,882百万円増加した一方、現金及び預金が738百万円、未収入金が1,647百万円、繰延税金資産が260百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して1,180百万円(6.1%)増加の20,586百万円となりました。これは、出店などにより建物及び構築物が794百万円、差入保証金が142百万円、投資その他の資産、その他が376百万円それぞれ増加した一方、償却などにより有形固定資産、その他が137百万円減少したことなどによります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比較して1,909百万円(7.4%)増加の27,634百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が2,843百万円、短期借入金が3,300百万円それぞれ増加した一方、1年内返済予定の長期借入金が911百万円、未払金が1,209百万円、未払法人税が899百万円、賞与引当金が629百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して403百万円(12.3%)減少の2,864百万円となりました。これは、資産除去債務が282百万円増加した一方、長期借入金が681百万円減少したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して1,286百万円(5.1%)増加の26,690百万円となりました。これは、利益剰余金が四半期純利益により2,435百万円増加した一方、配当金の支払により1,203百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績は概ね当初計画どおりに推移しており、平成25年5月8日発表の業績予想の修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,334	5,596
受取手形及び売掛金	166	169
商品	17,251	21,133
貯蔵品	229	281
未収入金	8,940	7,293
その他	2,069	2,130
貸倒引当金	2	2
流動資産合計	34,989	36,602
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,014	7,808
その他(純額)	1,959	1,822
有形固定資産合計	8,973	9,630
無形固定資産		
その他	1,589	1,591
無形固定資産合計	1,589	1,591
投資その他の資産		
差入保証金	7,001	7,144
その他	1,868	2,245
貸倒引当金	26	26
投資その他の資産合計	8,843	9,363
固定資産合計	19,405	20,586
資産合計	54,395	57,188
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,496	11,340
短期借入金	4,000	7,300
1年内返済予定の長期借入金	3,091	2,180
未払法人税等	2,422	1,523
賞与引当金	2,070	1,440
役員賞与引当金	113	-
その他	5,529	3,848
流動負債合計	25,724	27,634
固定負債		
長期借入金	681	-
役員退職慰労引当金	313	309
資産除去債務	2,264	2,546
その他	7	7

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
固定負債合計	3,267	2,864
負債合計	28,991	30,498
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,030	3,030
資本剰余金	4,095	4,095
利益剰余金	24,456	25,670
自己株式	6,197	6,119
株主資本合計	25,384	26,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12	5
繰延ヘッジ損益	31	9
その他の包括利益累計額合計	18	14
純資産合計	25,403	26,690
負債純資産合計	54,395	57,188

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	50,582	56,670
売上原価	23,028	26,534
売上総利益	27,553	30,135
販売費及び一般管理費	22,663	25,719
営業利益	4,890	4,416
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	0
為替差益	48	-
仕入割引	23	25
受取賃貸料	36	19
その他	40	48
営業外収益合計	153	94
営業外費用		
支払利息	45	29
支払手数料	0	0
為替差損	-	3
賃貸費用	18	11
その他	16	19
営業外費用合計	81	65
経常利益	4,961	4,445
特別利益		
固定資産売却益	-	1
特別利益合計	-	1
特別損失		
減損損失	654	222
その他	32	67
特別損失合計	687	289
税金等調整前四半期純利益	4,274	4,158
法人税、住民税及び事業税	1,295	1,435
法人税等調整額	245	286
法人税等合計	1,540	1,722
少数株主損益調整前四半期純利益	2,733	2,435
四半期純利益	2,733	2,435

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,733	2,435
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	18
繰延ヘッジ損益	73	22
その他の包括利益合計	76	4
四半期包括利益	2,657	2,431
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,657	2,431
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,274	4,158
減価償却費	728	829
無形固定資産償却費	123	92
長期前払費用償却額	54	62
減損損失	654	222
賞与引当金の増減額(は減少)	680	629
役員賞与引当金の増減額(は減少)	99	113
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	207	4
貸倒引当金の増減額(は減少)	1	0
受取利息及び受取配当金	4	1
支払利息	45	29
売上債権の増減額(は増加)	368	1,792
たな卸資産の増減額(は増加)	3,085	3,934
その他の流動資産の増減額(は増加)	138	505
仕入債務の増減額(は減少)	2,265	2,843
その他の流動負債の増減額(は減少)	1,378	1,490
その他の固定負債の増減額(は減少)	6	2
その他	4	28
小計	2,930	3,382
利息及び配当金の受取額	4	1
利息の支払額	46	29
法人税等の支払額	3,696	2,321
営業活動によるキャッシュ・フロー	808	1,032
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	6	6
関係会社株式の取得による支出	-	201
有形固定資産の取得による支出	746	1,538
資産除去債務の履行による支出	28	10
無形固定資産の取得による支出	85	127
長期前払費用の取得による支出	91	319
差入保証金の差入による支出	354	327
差入保証金の回収による収入	101	184
その他	2	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,212	2,342

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	1,400	3,300
長期借入金の返済による支出	1,770	1,592
自己株式の処分による収入	48	62
配当金の支払額	818	1,203
その他	-	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,140	566
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	3,161	744
現金及び現金同等物の期首残高	7,966	6,142
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,805	5,398

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第 2 四半期連結会計期間(自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第 2 四半期連結会計期間(自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)

当第 2 四半期連結会計期間において、台湾聯合艾諾股份有限公司を設立しましたが、重要性が乏しいため、連結の範囲及び持分法適用の範囲から除外しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第 2 四半期連結会計期間(自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)

該当事項はありません。

4. (参考) 四半期個別財務諸表(個別)

(注) この四半期財務諸表(個別)は、四半期財務諸表等規則に基づき当社が任意で作成したものです。

(1) (参考) 四半期貸借対照表(個別)

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,857	3,569
受取手形及び売掛金	10	4
商品	15,973	19,836
貯蔵品	229	281
未収入金	8,412	6,854
その他	2,423	2,515
貸倒引当金	1	1
流動資産合計	30,905	33,060
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,453	7,129
その他(純額)	1,842	1,688
有形固定資産合計	8,295	8,817
無形固定資産	1,555	1,517
投資その他の資産		
差入保証金	6,348	6,440
その他	3,961	4,328
貸倒引当金	26	26
投資その他の資産合計	10,283	10,742
固定資産合計	20,134	21,077
資産合計	51,040	54,138

(株)ユナイテッドアローズ(7606) 平成26年3月期第2四半期 決算短信

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,655	11,015
短期借入金	2,900	5,900
1年内返済予定の長期借入金	3,091	2,180
未払法人税等	2,222	1,445
賞与引当金	1,978	1,359
役員賞与引当金	102	
その他	5,206	3,604
流動負債合計	23,156	25,505
固定負債		
長期借入金	681	
役員退職慰労引当金	309	309
資産除去債務	2,015	2,261
その他	7	7
固定負債合計	3,014	2,579
負債合計	26,170	28,084
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,030	3,030
資本剰余金	4,095	4,095
利益剰余金	23,924	25,035
自己株式	6,197	6,119
株主資本合計	24,852	26,041
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12	5
繰延ヘッジ損益	29	7
評価・換算差額等合計	16	12
純資産合計	24,869	26,053
負債純資産合計	51,040	54,138

(2) (参考) 四半期損益計算書(個別)
【第2四半期累計期間】(参考)(個別)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	46,911	52,130
売上原価	21,602	24,586
売上総利益	25,308	27,544
販売費及び一般管理費	20,817	23,333
営業利益	4,491	4,210
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	3	0
為替差益	33	
仕入割引	23	25
関係会社業務受託料	8	4
受取賃貸料	36	19
その他	39	46
営業外収益合計	147	98
営業外費用		
支払利息	43	26
為替差損		3
賃貸費用	18	11
その他	16	19
営業外費用合計	78	61
経常利益	4,559	4,247
特別利益		
固定資産売却益		1
特別利益合計		1
特別損失		
減損損失	654	222
その他	27	55
特別損失合計	682	278
税金等調整前四半期純利益	3,877	3,971
法人税、住民税及び事業税	1,197	1,358
法人税等調整額	230	279
法人税等合計	1,428	1,638
四半期純利益	2,448	2,333

5. 補足情報

・平成26年3月期第2四半期の個別売上概況について

前第2四半期:平成25年3月期第2四半期(自平成24年4月1日至平成24年9月30日 6ヶ月)

当第2四半期:平成26年3月期第2四半期(自平成25年4月1日至平成25年9月30日 6ヶ月)

(1) 全社売上高の状況 (単位:百万円、%)

	前第2四半期(A)	当第2四半期(B)	増減額(B) - (A)	増減率
全社売上高	46,911	52,130	5,219	11.1

(2) 事業別の売上状況 (単位:百万円、%)

	前第2四半期(A)	当第2四半期(B)	増減額(B) - (A)	増減率
U A事業	20,894	22,754	1,859	8.9
G L R事業	9,810	11,169	1,359	13.9
C H事業	3,454	4,345	891	25.8
S.B.U.	6,665	6,974	309	4.6
ビジネスユニット計	40,824	45,244	4,419	10.8
その他	6,086	6,885	799	13.1
全社売上高	46,911	52,130	5,219	11.1

1. S.B.U. = Small Business Unit (スモール ビジネス ユニット)

2. 各ビジネスユニットに含まれる売上高は、小売、卸売、通販等であり、「その他」に含まれる売上高は、アウトレット等であります。

(3) 既存店の状況(小売) (単位:%)

	売上高増減率	客数増減率	客単価増減率
U A事業	1.1	3.8	5.2
G L R事業	2.2	0.7	2.9
C H事業	8.3	8.6	18.5
S.B.U.	0.9	4.9	4.3
ビジネスユニット計	1.8	3.0	4.9

(4) 品目別の売上状況 (単位:百万円、%)

	前第2四半期(A)	当第2四半期(B)	増減額(B) - (A)	増減率
メンズ	14,661	15,686	1,024	7.0
ウィメンズ	20,452	22,779	2,326	11.4
シルバー&レザー	4,436	5,324	887	20.0
雑貨等	1,273	1,454	180	14.2
ビジネスユニット計	40,824	45,244	4,419	10.8
その他	6,086	6,885	799	13.1
全社売上高	46,911	52,130	5,219	11.1

シルバー & レザーとは「クロムハーツ」ブランドの銀製装飾品および皮革製ウェアであります。

(5) チャネル別の売上状況 (単位:百万円、%)

	前第2四半期(A)	当第2四半期(B)	増減額(B) - (A)	増減率
北海道・東北地区	1,579	1,613	33	2.2
関東(東京以外)地区	5,398	6,157	759	14.1
東京地区	16,382	18,320	1,937	11.8
甲信越・北陸・東海地区	3,235	3,407	172	5.3
関西地区	5,285	6,256	971	18.4
中国・四国・九州地区	3,498	3,818	320	9.1
小売合計	35,378	39,573	4,194	11.9
ネット通販	5,090	5,389	298	5.9
卸等	355	281	73	20.8
その他	6,086	6,885	799	13.1
全社売上高	46,911	52,130	5,219	11.1